

ジョイ・ウォンの 魔界伝説 (1992)

陰陽法王
PAINTED SKIN

メディア 映画

ジャンル ファンタジー ホラー

製作国 香港

時間 90分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

いわゆる香港映画の定義づけを超えた所にいるキン・フーの最新作で、'92年の東京国際映画祭では「ペインテッド・スキン」の題で上映された。途中で降板した「笑傲江湖」(90・未公開)を除けば、「大輪廻」、「天下第一」(共に83・未公開)以来、約10年ぶりの監督作だ。中国の有名な怪談集『聊齋志異』の一編が原作で、人の皮を被ったお化けの美女をJ・ウォンが演じる。製作費の不足、初めての大陸ロケといった困難でキン・フー自身、満足のいく出来ではないと言っており、しかも、プロデューサーによって改編短縮されての公開の憂き目にあった作品だが、その画面の格調からは彼の目指した表現の域が窺われる。

昔、科挙に何度となくすべり、ヤケになって遊蕩三昧の青年があった。遊びの帰りの夜道で、行くあてがないと語る美女と出会い、自分の屋敷に誘うが、女が化物であると知った彼は道士に救いを求める。そして、もっと高位の道士でなければ、彼女の魂を癒せぬことを知ると、青年はその人を探して旅へ……。そして巡りあうのが、広大な桃畑を一人で育てる老上人(サモ・ハン)。彼こそが、現世と冥界の間を支配する陰陽大王に対抗できるのだ。青年の体に取りついた大王と上人の空中戦は、かつての「侠女」「忠烈図」で描いたような爽快さではなく、京劇の舞という、より歌舞伎のミエを見るのに近い、引き締まった昂揚を覚えさせ、感動的。しかし、何より美しいのは前半の怪異譚としての充実で、ふっと異世界に囚われて、後戻りできなくなる青年の味わう恐怖はそのまま観客のものだ。その静謐な演出にキン・フーの新境地も垣間見えるというもの。陰陽大王は原作にはなく、大陸で生まれながら香港〜アメリカと渡り歩いた監督自身の行き場のない境遇を、さながら大王に囚われたようだと暗喩を託すため、中国の伝奇から採ったキャラクター。

【クレジット】

監督	キン・フー	King Hu
出演	サモ・ハン・キンポー	Sammo Hung Kam-Bo
	ジョイ・ウォン	Joey Wang
	ウー・マ	Wu Ma
	ツン・サオチュウ	
	リュウ・シュン	
	ジャー・チンファン	